



茨城の土木遺産

花貫川第一発電所 第三号水路橋(高萩市)

大正7年(1918年)竣工

花貫川第一発電所の導水路上、発電用水を取水口から水圧鉄管に送る途中の沢を渡る区間に設けられた、鉄筋コンクリート造二連アーチの水路橋。橋長約77m、幅員約2m。地上からの高さ約22m。沢の川床から石を約15mの高さに積み上げて造られた橋脚の上部に、コンクリートにより両側の山に向かって二つのアーチが架けられている。スパンドレル部分に位置する直材には鉄筋コンクリート部材を用いるなど、我が国の橋梁分野における鉄筋コンクリート技術導入初期の造形がうかがえる土木技術史上、貴重な遺産である。国登録有形文化財。

主な内容

- ▼ 小林副会長が旭日双光章を受章
- ▼ 水戸支部・土浦支部が豚熱防疫作業に尽力
- ▼ 関東地方整備局、茨城県土木部と意見交換
- ▼ 今年度の新規入職者研修スタート

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局